第25号
平成31年3月
関東だより
小松工業高校同窓会関東支部
発行責任者　中屋　豊司

関東支部総会・懇親会開催される

昨年１１月２４日（土）千代田区麹町の東京グリーンパレスに於いて、第２１回関東支部総会・懇親会に、関東支部会員の他、学校、本部、中京支部並びに北國新聞社の来賓をお迎えし、総勢３７名の参加により盛大に開催されました。

総会は物故者への黙祷、石川隆治支部長挨拶及び２年間の事業報告の後、宮川吉男本部会長、林純一郎学校長が祝辞を延べられた。また、会計報告・監査報告の後、新役員・幹事（２ページ参照）の紹介があり、代表して中屋豊司新支部長の挨拶があった。

懇親会は参加者最長老の谷口輝長氏の乾杯で始まり、村先憲之８０周年記念事業実行委員長、藪卓二中京支部長、杉山忠司北國新聞社東京支社営業部長の挨拶の後岩田綱紀先生の学校報告を受け、楽しい懇談が行われた。皆さんの近況や思い出に話がはずみ、楽しい時間を過ごしました。

恒例の抽選会では、来賓の方々より頂いたお土産及び幹事が持ち寄った景品を抽選により全員にプレゼントされた。最後には全員による校歌斉唱で終了し、次回２年後に元気に再会することを約束してお開きとなった。

二次会では２０名以上の方が参加され、懇親会とは異なる雰囲気で、賑やかに、楽しい時間を過ごすことができた。

次回の総会・懇親会は来年１１月に予定しています。今回ご都合で参加されなかった会員の出席を願っています。

ご来賓の方々は下記の１０名

小松工業高校　林 純一郎 学校長、岩田綱紀 先生(H1 工E24-1)
同窓会本部　宮川吉男 会長(S42 工M2-3)、舟木敏博 副会長(S41 工E1-3)、山崎秀雄 副会長(S44 工A1)
村先憲之 80周年記念事業実行委員長(S41 工E1-2)、沢田貞 80周年記念事業事務局長(S46 工A-3)
関西支部　黒田幸夫 支部長(S34 実E13-2)［体調不良につきご欠席］
中京支部　藪 卓二 支部長(S46 工M6-1)、高田栄司　会計(S46 工A3)
北國新聞社　杉山忠司東京支社営業部長

支部会員の出席は下記の２６名　（※西田さんは集合写真には間に合わず）
谷口輝長(S20 M2)、安井武(S28 実E1)、田嶌春男(S29 実M2)、山下時男(S29 実M2)、飴山善昭(S31 実E4)
吉兼進(S31 実E4)、竹下豊男(S33 実M6)、星野酵藏(S34 実E7)、西川守(S35 実E8)、山本幹夫(S35 実E8)
吉兼勝昭(S35 実E8)、小原國男(S36 実E9)、米山英紀(S37 実E10-2)、坂山盈(S38 実M11-2)
石川隆治(S39 実M12-2)、山下哲朗(S39 実E12-2)、世戸繁男(S40 実E13-2)、早戸三郎(S43 工E3-1)
富本睦生(S43 工E3-2)、中屋豊司(S44 工A1)、村喜久雄(S46 工E6-1)、神田茂樹(S46・工A3)
木谷宗一(S46 工A3)、※西田昌則(S46 工A3)、村井貞憲(S46 工A3)、寺越健太郎(S47 工A4)

◆総会　１２時～

司会：星野酵藏

1. 開会宣言
2. 逝去会員へ黙祷
　中屋豊司　総務幹事
3. 支部長挨拶
　石川隆治　支部長
4. 事業報告　石川隆治　支部長
5. 来賓ご挨拶
　小松工業高校同窓会
　宮川　吉男　会長
　小松工業高校
　林　純一郎　学校長
6. 会計報告
　富本睦生　会計
7. 会計監査報告
　飴山善昭　会計監査
8. 新役員・幹事(案)紹介
9. 閉会宣言

◆総会以降の新役員・幹事は以下のとおり

支部長　：中屋豊司
副支部長：笠間治夫，早戸三郎
総務幹事：寺越健太郎
会計幹事：富本睦生，村井貞憲
会計監査：石川隆治
幹事　：山下時男，飴山善昭，竹下豊男，畑中清志，星野酵蔵，西川守，山本幹夫，北本拓，藏藤憲二，坂山盈，世戸繁男，橋本昇，山本広志，木下繁晴

◆懇親会　１３時～　司会：石川隆治

1. 開会宣言
2. 乾杯　谷口　輝長
3. 来賓ご挨拶
　村先憲之　80周年記念事業実行委員長
　中京支部　藪卓二支部長
　北國新聞東京支社
　杉山忠司　営業部長
4. 学校報告　岩田綱紀先生
5. ご懇談
6. 抽選会
7. 校歌斉唱
8. 締め　寺越健太郎　幹事
9. 閉会宣言

支部長退任にあたり

石川隆治

私は昨年１１月の総会で支部長を退任させて頂きました。

同窓会の目的は、「会員相互の親睦を図るとともに、本部及び学校との密接な交流を行うこと」であります。

その目的を達成するため、総会・懇親会の開催及び関東だよりの発行の外、ミニ同窓会の開催、関東で実施される在校生の全国大会を応援、石川県の新聞に記載された母校に関するニュースなどを希望される会員に配信することに力を入れてまいりました。しかし、これが支部活性化に繋がったかどうかは一概に判断できません。

支部会員数は、多数を占める高齢者の年々の減少と６０歳以下の若手が少数であることより、現在約２９０名です。ここ１０年間で２４％減少しました。少なくなっている会員数ですが、昨年末に発行された同窓会名簿を活用して漏れの無いようにして頂きたいと思います。

今後は新しい支部役員で会の目的が達成されますよう、一幹事として微力ながら支援させて頂きます。４年間のご支援ありがとうございました。

支部長新任にあたり

中屋豊司

昨年の第２１回総会におきまして、石川支部長の後任として、関東支部長を務める事になりました中屋豊司と申します。昭和４１年に小松工業高校に新設された建築科の第１期生で、昭和４４年３月の卒業です。

当時は、日本経済も成長期で、就職はそれ程困難な時期ではなかったように思います。しかし、何の実績もない工業高校建築科の１期生は、大手建設会社の就職試験を受けられない厳しさがあったと記憶しています。

また、担任の押野先生も、生徒の就職先を探すことは始めてのことで、たいへんご苦労されたようです。

今思えば、私はたいへん幸運でした。

横浜市の人口が３００万人超え、大都市となった横浜の都市基盤となる六大事業（横浜ベイブリッジ、市営地下鉄等）を策定し、多数の職員を募集している時代で、運良く横浜市に就職することができ、８年前に定年退職しました。

今は４２年間携わった横浜市営地下鉄建設の経験を活かし、横浜シーサイドライン（新交通システム）金沢八景駅（今年３月開通）の建設を手助けしております。

これまで、私の仕事、生活を支え続けてこられた原点が小松工業高校にあると思っており、たいへん感謝しております。

私の関東支部への係わりは、平成２，３年頃、亡き川上元支部長より手伝って欲しい旨の電話をいただき、新橋駅の傍にあった東京電力厚生施設に有志が集まり、暫く途絶えていた同窓会関東支部総会（平成４年）の開催準備をしたのが最初です。これまで会計、総務幹事、関東だよりを担当してきました。

関東支部は、その目的である会員間の「情報交換」、「親睦を図ること」及び「本部との交流」です。

この目的を果たす唯一の活動である総会・懇親会に大勢の会員が集まることです。これまで関東だよりの発行等いろいろな取組みをしてきましたが、同窓会への関心も薄く、なかなか参加者が増えないのが現状です。

幹事、会員共に高齢化が進み、また関東地方に就職する卒業生も少なくなっている中で、同窓会への参加者を増やすことにたいへん苦労しています。

これからも、総会・懇親会への参加者、そして新幹事も増やす活動を積極的に進め、何とか現状を維持しつつ、支部の発展、継続が重要と考えております。

最後に、今年は学校創立８０周年となります。同窓会本部は記念事業として、「教室に大型ディスプレイ設置」、「校外移動用車両の購入」、「同窓会館のリホーム」を行います。既に実行委員会から趣意書が送られ、ご寄付のお願いがあったかと思います。会員諸氏にもご賛同いただき、ご協力をお願い申し上げ、支部長新任の挨拶とします。

幹事会報告

去る1月２６日（土）総会の開催会場と同じ東京グリーンパレス内の「ジャルダン」に於いて幹事会が開催されました。今幹事会は昨年開催された関東支部総会後に新たに支部長に任命された中屋新支部長以下８名が出席。

議題に入る前に中屋支部長から先日突然逝去された山下時男元支部長のご霊前報告がありました。（山下さんは総会・懇親会に何時もと変わらない元気な姿で出席されていましたが、総会後間もなくの１２月６日に８３歳で急逝されました。ご冥福をお祈りします。）

主な議題は総会・懇親会の反省と改善について数多くの良かった点、改善すべき点について話し合い、良かった点については次回に生かすこととし、改善すべき点については今後の幹事会で詰めていくこととした。会議後幹事の親睦を図るべく新年会を兼ねて懇親会を実施致しました。

なお、それに先立つ昨年１２月８日（土）には、関東便り編集会議を編集委員４名（石川・中屋。早戸・寺越）で開催し、この２５号の関東便りの編集方針を調整しました。（早戸記・寺越補足）

母校応援記

◆ボウリング大会の応援

昨年１２月２２日、川崎グランドボウルに於いて、文部科学大臣杯第２５回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会に母校生徒の出場があり、私と石川前支部長で応援に行ってきました。残念ながら決勝トーナメントには進出できませんでしたが、来年はぜひ決勝の応援がしたいものです。

大会を観戦して驚いたのは、両手投げの選手が数人いてびっくりしたことです。今はボウリング場も減り、遊ぶこともほとんどありませんが、身近な娯楽スポーツです。若い頃を思い出し、みなさんも楽しんでみてはいかがでしょうか。（中屋記）

◆高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会の母校の結果

２月１７日（日曜日）頭書大会に母校の応援に行ってきました。（場所：神奈川県厚木市）

関東支部よりの応援者：寺越（総務幹事），石川（会計監査）の２人。

結果をお知らせします。

試合は１チーム５台のリモコンロボットを操り，ボールを敵陣に入れる。

正味３分間での得点を争う。

全国より２４チームが参加し、３校毎に予選リーグ戦を行い，各リーグトップの８校が、決勝トーナメントに進む。

小松工業は，リーグ戦２敗で予選敗退しました。

今年は１４回目で，母校は初出場であり，ノウハウの蓄積の不足を感じました。

全国レベルは高い。来年以降に期待したいと思います。

大会の様子は、写真を御覧ください。（石川記）

◆なおその他に3月下旬には全国ハンドボール大会が行われ母校も石川県代表として出場します。良い成績を残すことを期待したいと思います。

同窓会の動き

●関東支部の今後の予定

・8月：幹事会

・２０２０年3月：関東だより第２６号発行予定

・次回総会・懇親会は２０２０年秋となります。

●本部

・10月１９日（土）総会・創立８０周年記念式典

会場：母校体育館

講演会講師：中野孝一さん（人間国宝）

記念パーティ：ホテルサンルート小松２階インペリアルルーム

※関東支部より中屋支部長、石川前支部長が参加予定です。

●白山能美支部

・7月：総会・懇親会

●中京支部

・6月３０日総会・懇親会

●関西支部

・11月総会・懇親会

◆編集後記

今回の関東便りから中屋さんから引き継いで編集を担当しましたが、中屋新支部長や石川前支部長に助けられて、何とかまとめあげることができました。残念ながら会員の皆さんの投稿がなく、次回以降投稿をお待ちしていますので、８００字から１０００字程度で、仕事・趣味・家族・最近思うことなど内容は問いません。よろしくお願い致します。

関東だよりは、関東地区在住の同窓会会員のために発行しています。ご意見、ご投稿又は住所を変更された方、紙面広告を希望される方は下記までご連絡ください。

編集担当　寺越 健太郎
住所：〒194-0022　東京都町田市森野 1-1-21-206
TEL・FAX：042-739-1875　携帯：090-4246-5833
mail：k.terakoshi0724@softbank.ne.jp